

# カリキュラム

A. バックオフィス	<b>DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入</b>
システム導入	

コースのねらい	自社の業務変革を目指して、業務のシステム化に向け、自社のニーズに合致したシステムを企画できる知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	DX導入手法とデジタル技術の活用	(1)DXの概念とその事例 昨今の経営戦略の一つとして取り上げられているDX(デジタルトランスフォーメーション)について、その概念と事例を、最新技術の紹介とともに解説します。事例は、中小企業の製造業、サービス業、農業などを中心にご紹介します。  (2)クラウド技術とDX DXに必要不可欠なクラウドの技術について、SaaS、PaaS、IaaSといった概念やそれぞれの特徴、それぞれを代表するサービス、クラウドのセキュリティ対策等について解説します。また、DXを推進するにあたり、企業がどのような姿勢で取り組むべきかについても製造業の事例を元に解説します。	2.0
	2	DX導入手順	(1)DX導入の流れ 一口にDXといっても、企業によってIT化やIT活用状況は様々です。ここでは自社のDXとIT化のレベルの確認、DXのビジョン創造、DX推進の戦略策定、具体的な行動目標の設定、DX推進部門の設立など、具体的な導入の流れについて解説します。  (2)DX導入のための情報収集技術【演習あり】 DXを導入するためには最新技術情報や様々なDXの事例について情報をキャッチする能力が必要です。ここではインターネットを活用した情報収集技術について解説し、自分のスマホでも実践できることを体験します。	2.0
	3	システム開発手法	(1)PoC(概念実証)【演習あり】 ある企業の現状の業務プロセスとその課題をケースとして、どうしたら改善できるのか、具体的にDXを推進する上で必要な様々なサービスについて洗い出し、PoC(実証実験)を行うための準備をワークショップ形式にて行います。	1.0
	4	DX推進検証	(1)KPTフレームワークを用いたDX推進の検証【演習あり】 DXプロジェクトの実施を経て、プロジェクトの状況を確認・検証する方法について学習します。ここではKPTフレームワークを用いたプロジェクトの振り返り・検証についてケーススタディを通じて学びます。	1.0
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント
DXは日本中のすべての企業が取り組むべき経営戦略の一つです。このカリキュラムでは、中小企業での事例を多く盛り込むことで、自社にとってもDXに取り組むことが必要不可欠であることを実感できるよう工夫しています。 また、自社がDXに取り組むに際して、どのような手順で進めるべきかについても、ワークショップ形式で検討し、自社に戻ってすぐに展開できるようにしています。

講師から一言
このセミナーでは、DXとは何か、なぜ必要なのか、どのようなメリットや課題があるのかについて解説するとともに、実際にDXに取り組んだ事例を多数紹介します。また、ワークショップ形式で、自社の現状や目標に合わせたDXの進め方や実施方法を考えていただきます。このセミナーを通して、DXの意義や方法を理解していただき、自社に戻ってすぐに取り組める計画を立てることができるようになることを目指しています。DXの知識や経験が少なくても大丈夫です。